

地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 桜島

【計画】

作成担当者： 永田 信行

開催日時	平成31年02月05日 10:00 ~ 11:00	開催場所	桜島地区保健センター小会議室
参加者	民生委員：4人、居宅介護支援事業所：1人、医療ソーシャルワーカー：1人、市職員：1人、地域包括支援センター職員：5人		
	総数 12人		
内容	テーマ	見守りの必要性について	
	目的	独居高齢者の孤独死を少なくし、また、緊急時に1分1秒でも早く発見するにはどうすればいいか意見交換を行う。	
	概要	<p>「孤独死対策」について。孤独死の原因と対策についての話し合い。 桜島地区における孤独死の具体的な事例について。 高齢者の見守り体制に必要な社会資源についての話し合い 鹿児島市の総合事業についての説明 長寿あんしんネットワークメールについて 認知症等見守りメイトについて 鹿児島市介護予防生活支援サービス従事者研修会について</p>	

【結果】

開催日時	平成31年02月05日 10:00 ~ 11:00	開催場所	桜島地区保健センター小会議室
参加者	民生委員：4人、居宅介護支援事業所：1人、医療ソーシャルワーカー：1人、市職員：1人、地域包括支援センター職員：5人		
	総数 12人		
内容	<p>①「孤独死対策」について。平成30年11月に桜島武地区において70歳代の男性の孤独死があり、地区担当民生委員さんより、孤独死の状況と現在の活動について報告を頂いた。対象者は身寄りがおらず、金銭的にも困窮しており、以前から声かけはしていたが、必要なサービスにつながっていなかった。通院もしておらず、倒れてからの発見は比較的早かったものの、亡くなった状態で発見された。それ以来、一人暮らしの高齢者には毎週土曜日に声かけの活動を行っている。</p> <p>他の委員からも、独居高齢者で不安な人には声かけを行っており、必要に応じて社会資源の紹介をしているが、全てに対応できておらず、孤独死が起きたときに、民生委員が責められるときがあり、困っているとの声もあがった。</p> <p>桜島地区においては対岸の地区よりも、近隣住民同士の顔が見える関係ができており、比較的、発見が早いとの意見もあった。ケアマネジャーから、冬場になると、インフルエンザや、体調を壊す高齢者が多く、介護・医療機関が少ないために満床のときがあり、緊急的な対応が難しいとの意見が出た。</p> <p>②コーディネーターより総合事業の「サービスA」についての現状説明、「サービスB」の進捗状況の説明を行った。</p> <p>③本部より、認知症等見守りメイトの利用のお願いと、メイト養成講座への参加のお願いをする。また、長寿あんしんネットワークメールの説明も行った。</p>		
今後の課題など	来年度、支え手育成モデル事業の黒神地区の地域有志によるグループ「さくら」への支援について。		